普　及　現　地　情　報
令和８年 11 月 25 日
奥州農業改良普及センター
記　述　者　　早坂　考広

私が伝授したい農業・農作業・経営のコツ②
～指導士による技術伝承研修会を開催～

胆江地方農業農村指導士会は、新規就農者の円滑な就農を支援するため、指導士が得意分野とする「農作業等のコツ」を学ぶ対話型の研修会を開催しました。

10 月 29 日、奥州市水沢において岩手県農業農村指導士の青沼純一氏を講師に迎え、「ピーマンの後片付けとなばなの栽培」をテーマに実施し、新規就農者３名が参加しました。

講師からは、「ピーマンに限らず、何の作物でも後片付けが大事で、きちんと植物体のすべてを取り除かないと次の作に病虫害などの影響が出る。」、「なばなの栽培は、ピーマン栽培で残った肥料成分を吸収してもらう意味もある。」、「なばなは 10 月末に定植し３月まで収穫できることから冬場の収入源になる。」といった話がありました。

講師から話を聞いた後、実際に参加者がなばなの定植作業を体験しました。

参加者からは、「ピーマンの夏場のかん水はどのようにしているのか。」、「今後、ピーマンのハウスを建てて栽培に取り組む予定だが、土づくりはどのようにしたら良いか。」など様々な質問が寄せられ、青沼氏が丁寧に回答しました。

また、参加者からは、「聞きたい内容を聞くことが出来た。」、「ピーマン栽培について詳しく話が聞けたので良かった。」との感想が寄せられました。

今後も、指導士会は新規就農者の要望に応じた技術伝承研修会を継続して開催していく予定です。



後片付けの重要性やなばなの栽培方法等のお話を聞きました。



参加者がなばなの定植を体験しました。